

HIDWR

兵庫県感染症発生動向調査週報(速報) 平成23年第9週(2月28日~3月6日)

兵庫県感染症情報センター(兵庫県立健康生活科学研究所:健康科学研究センター)

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-i.html>

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

インフルエンザ

定点あたり患者数は先週の11.90人から今週**9.35人**と減少し、注意報レベルである定点あたり10人を下回りました。地域的にみると、定点あたり30人以上の保健所管内はなくなりましたが、姫路市、加古川、加東、中播磨、朝来の5保健所管内が警報レベルの終息基準値である定点あたり10人以上となっています。

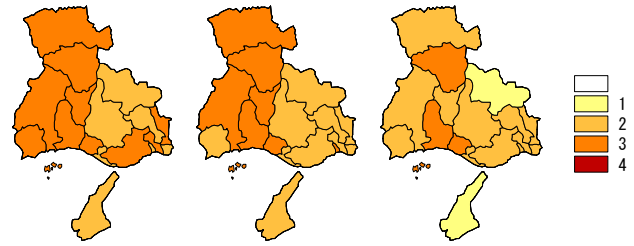
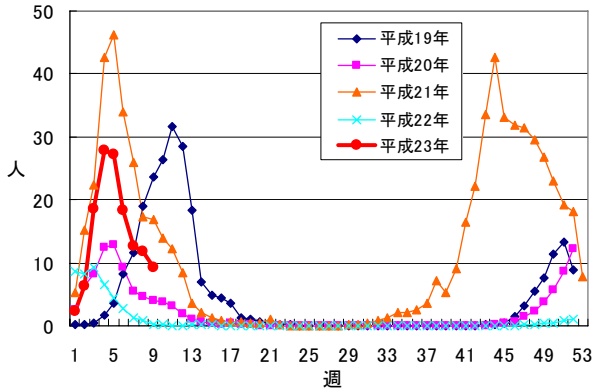
全国的には、北海道、東京都、愛知県、大阪府、福岡県などの33都道府県に警報レベルの保健所管内が、これ以外の8府県に注意報レベルの保健所管内があります。

兵庫県内の学級閉鎖等(第9週)の状況は、施設数86か所(先週95か所)、患者数810人(同953人)、欠席者数709人(同858人)と減少しました。

兵庫県立健康生活科学研究所:健康生活科学研究センターは、今シーズン、これまでに177検体のインフルエンザウイルスを検出しています。その内訳は新型インフルエンザ(AH1pdm)138件(78%)、A香港型(AH3亜型)32件(18%)、B型7件(4%)と、新型インフルエンザ(AH1pdm)の割合が大部分を占めていますが、2月の中旬以降A香港型の検出数が増加しています。

インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)



7週 8週 9週
(例年の地域別患者数を基準に流行状況を色分けしています。)

インフルエンザ重症サーベイランスの概況

県疾病対策課より情報提供がありましたので掲載します。

インフルエンザ重症サーベイランスの概況 平成23年1月1日以降(平成23年3月8日時点)

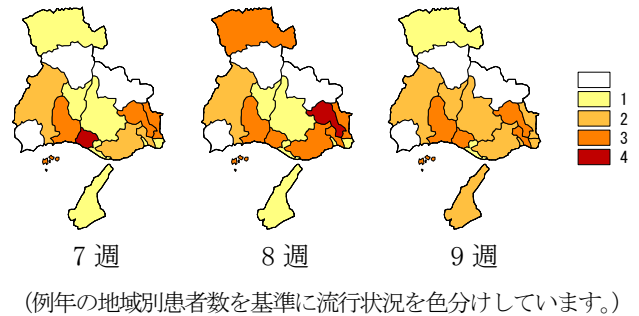
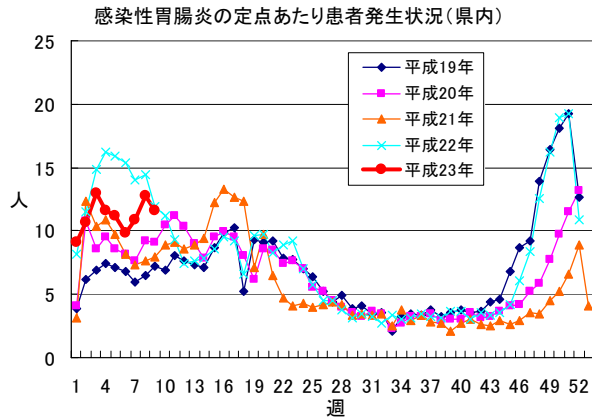
	1歳未満		1~4歳		5~9歳		10~14歳		15~19歳		20~29歳		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上		計	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
兵庫県総数	0	1	0	0	0	2	2	3	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	26
うち基礎疾患を有する者	0	1	0	0	0	2	2	2	2	2	2	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	22
うち死亡者数	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	0	12
うち基礎疾患を有する者	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	0	11

	新型(A/H1N1)		Aソ連型(H1)		A香港型(H3)		A型(亜型不明)		B型		調査中		計	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
兵庫県総数	12	0	3	10	0	1	0	26						
うち死亡者数	4	0	1	7	0	0	12							

※1 インフルエンザ重症サーベイランスは、入院中に一時期でも急性脳症に罹患、人工呼吸器装着を装着、集中治療室に入室の患者、死亡者が対象。
 ※2 今週とは、先週月曜日から日曜日とする。今週以外で修正があった場合は累計に反映する。

感染性胃腸炎

定点あたり患者数は今週 **11.60人**（先週は12.74人）と減少しました。この時期の感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの励行を基本に、吐物などの後始末を素手で行わない、二枚貝類は十分に加熱して食べるなどの注意が重要です。



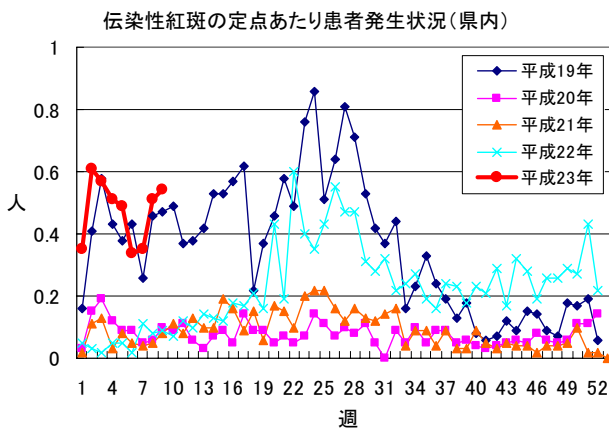
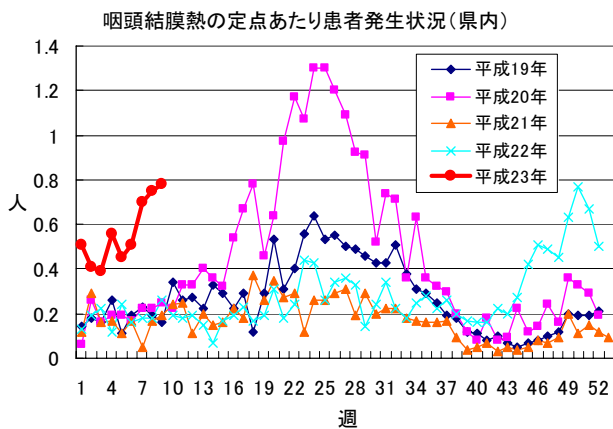
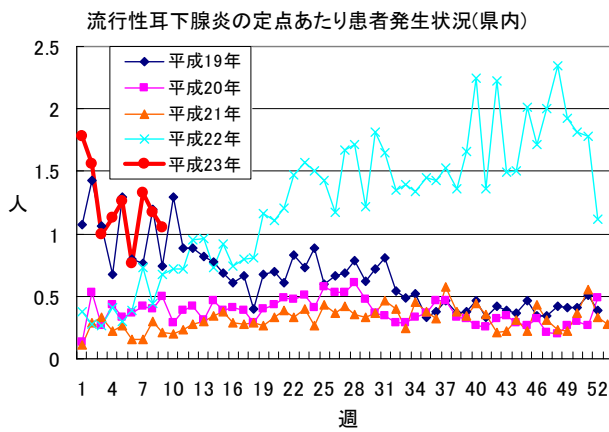
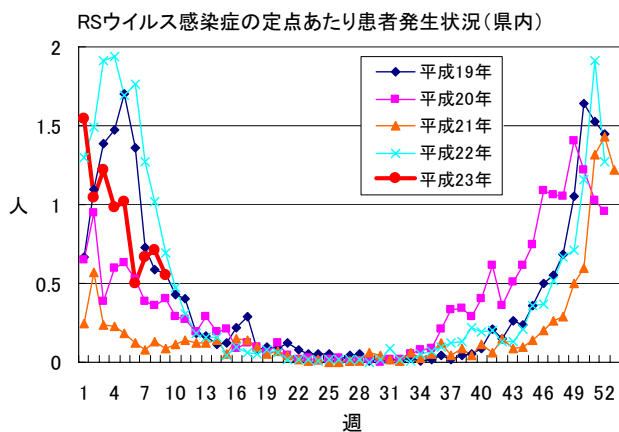
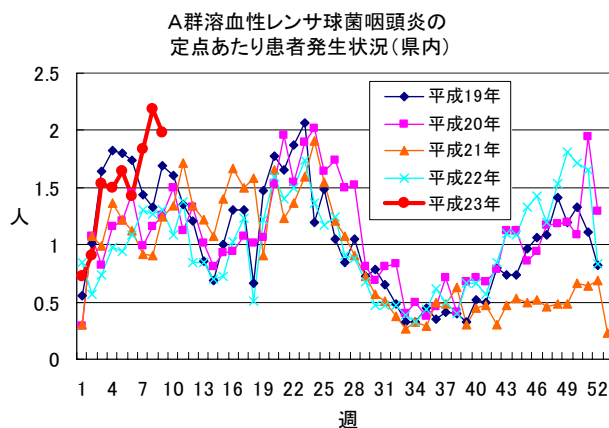
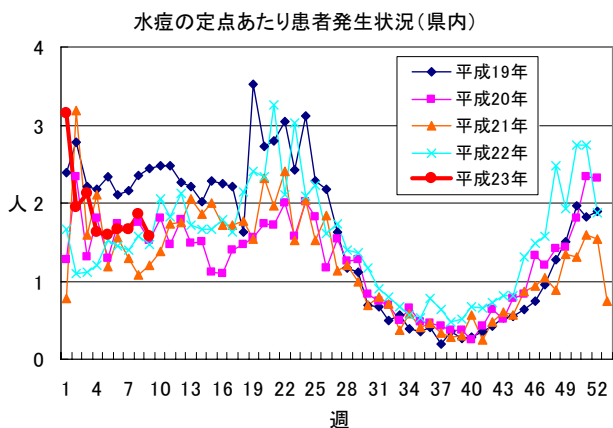
定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	11.60	12.74	-1.14	6位	咽頭結膜熱	0.78	0.75	+0.03
2位	インフルエンザ	9.35	11.90	-2.55	7位	流行性角結膜炎	0.63	0.51	+0.12
3位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.98	2.19	-0.21	8位	突発性発しん	0.57	0.48	+0.09
4位	水痘	1.57	1.85	-0.28	9位	RSウイルス感染症	0.55	0.71	-0.16
5位	流行性耳下腺炎	1.05	1.17	-0.12	10位	伝染性紅斑	0.54	0.51	+0.03

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 27名 （神戸市12名、尼崎市1名、姫路市2名、西宮市2名、伊丹保健所管内3名、宝塚保健所管内2名、明石保健所管内1名、龍野保健所管内2名、赤穂保健所管内1名、豊岡保健所管内1名）
3類感染症	報告はありません。
4類感染症	デング熱 1名 （神戸市；デング熱 女性30歳代 感染地域；国外、感染経路；動物・蚊・昆虫等からの感染）
5類感染症	報告はありません。
追加報告	結核 6名 （芦屋保健所管内1名、宝塚保健所管内1名、赤穂保健所管内1名、豊岡保健所管内1名、洲本保健所管内2名）、 アメーバ赤痢 1名 （伊丹保健所管内；腸管アメーバ症 男性50歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明）、 急性脳炎 1名 （神戸市；病原体不明 女性5歳）、 ジアルジア症 1名 （加古川保健所管内；男性50歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；経口感染）、 梅毒 1名 （赤穂保健所管内；早期顕症梅毒 男性60歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明）、

目で見える動向（県内）



例年同時期と比較して患者数が多い。

平成19年と同様に例年同時期と比較して患者数が多い。

この週報は兵庫県立健康科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。
また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。